## 香川県の土砂災害に関する防災風土資源

| 整理番号 | 香川県の土砂災害に関する防災風土資源<br><b>香土 1</b> 豊南の土石流扇状地  |  |                     |   |   |   |   |   |  |  |  |
|------|--|--|---------------------|---|---|---|---|---|--|--|--|
| 正任田勺 |  |  |                     | 豆汁  | ツエね 洲   |   |   |   |  |  |  |
| 災害種別 | 水害·治   | 自水   | 地震・消                | <b>津</b> 波  | 土砂災害  |   | 温   | 水・利力  | Ç.   |  |  |
| 場所   | 香川県観音  | 寺市、豊沙  | 兵町など                |   |   |   |   |   |  |  |  |
| 見所・  | 観音寺市大野原町・豊浜町にまたがる高尾山北斜面の山麓には、過去の土石流によって形成された土石<br>流扇状地が発達しています。2004年の台風 15 号及び 21 号の豪雨によって土石流が発生し、特産の梨畑が |  |                     |   |   |   |   |   |  |  |  |
| アクセス | 流扇状地が発   | 達している  | ます。2004年の           | の台風 15 号及ひ  | 21 号の豪  | 雨によっ  | て土石流が昇  | 発生し、特   | 産の梨畑が  |  |  |
|      | 大きな被害を受けました。 JR予讃線豊浜駅から南東へ約 2.5 km行った辺りにあります。  |  |                     |   |   |   |   |   |  |  |  |
| 写真・図 | 「  |  |                     |   |   |   |   |   |  |  |  |
| 解説文  | た土石では、   | 地が発達した (写真 1) た (写真 1) た (写真 1) た で 下 中 頂 だ け これ た ボ こ れ 元 流 扇 れ ま し か の 扇 れ ま し か の の の の の の の の の の の の の の の の の の | しています。平 は、当時消防区。 この | こまたがる高尾に<br>正成 16 年の台風<br>田長として危険能<br>に何よんでものじています。<br>にはないないます。<br>になる 集えずまな、<br>だ事と考えずまな、<br>がないままます。<br>ではないまままます。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではまる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではな。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではな。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではな。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではなる。<br>ではなる。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>ではな。<br>でな。<br>でな。<br>でな。<br>でな。<br>でな。<br>でな。<br>でな。<br>で | 15 号、21 fmの住民の<br>かると思う/<br>は残って自ま<br>を降らせま<br>えないのつ<br>で土石流か<br>ず事との意言 | 号の豪雨 の避難誘う いや。これ 分の家 大石 のまま を で、 最 を も も で、 発 を も っ で 長 を も っ で た で た で た で た で た で た か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か | によって土石<br>算に関わった<br>この地形など<br>守るんや」と<br>方流が出下座を<br>養性者が出を<br>変性者が出る<br>で早めの避難<br>谷川修一教授 | 「流が発生」<br>二人の話い<br>にいくられる<br>にいけていいがい<br>にしたががい<br>は、こと心ががい<br>は、はいないがいがい。<br>は、はいないがいがい。<br>は、はいないがいがい。<br>は、はいないがいがいがい。<br>は、はいないがいがいがいがい。<br>は、はいないがいがいがいがい。<br>は、はいないがいがいがいがいがいがいがいがいがいがい。<br>は、はいないがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいます。<br>は、はいないないがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがい | し 載 は 得 ま い 国 る 人 さ な い 知 も で の 何 で が な と 国 な の 何 で が 建設 |  |  |
| 得られる | 土下座の説  | 得で避難し  |                     | この話は、自分   | 分の経験だり  | けで、危村   | 幾を過小評価  | <b>新すること</b>  | に注意する  |  |  |
| 教訓   | ことを教えて   | います。   |                     |   |   |   |   |   |  |  |  |
| 教訓分類 | 被害防止   | 準値   | # 災害対応              | 芯 復旧·復興   | 自助  | 共助  | 公助  | ハード   | ソフト  |  |  |
| 時代   | 江戸時代以  | Ħΰ   | 江戸時代                | 明治・大正   | 昭和 30 年   | <b></b> 手代まで  | 昭和 60 年代  | はまで   | 平成以降   |  |  |

| 整理番号 | 香土2  |    | 小豆島中山 | の千枚田とキャプロ | ック地すべり |
|------|------|----|-------|-----------|--------|
| 災害種別 | 水害・氵 | 台水 | 地震・津波 | 土砂災害      | 渇水・利水  |

| 火口 | 1里刀门 | 71 1177               | 地展 年级      | 工切列目        |                     |  |  |  |  |  |
|----|------|-----------------------|------------|-------------|---------------------|--|--|--|--|--|
| 場  | 所    | 香川県小豆郡小豆島町中山          |            |             |                     |  |  |  |  |  |
| 見月 | 近・   |                       |            |             | 景観が見所です。県道 25 号線と県  |  |  |  |  |  |
| アク | セス   | 道 252 号線を使って土<br>ります。 | 庄町土庄から入るルー | トと小豆島町池田から県 | 道 252 号線を使って入るルートがあ |  |  |  |  |  |

写真・図







写真 1

写真 2

写真 3

香川県小豆島中山には、キャップロック地すべりとその移動体に形成された千枚田があります。香川県の殿川ダムの下流右岸斜面の付近にあり、県道 25 号線と県道 252 号線を使って土庄から入るルートと池田から県道 252 号線を使って入るルートがあります。この小豆島中山キャップロック地すべりの場所の千枚田(写真1)は「日本の棚田]100 選にも選ばれています。実際の田んぼの枚数は 800 枚あまりで、小さいものは畳 2 畳くらいの広さしかありません。田んぼには一年中涸れることのない湯船山の湧き水が流れ込み、水不足で悩まされる小豆島にあって、水田を可能にしています。

詳細は、高知大学理学部 横山俊治教授が四国の地盤 88 箇所 86 番の中で、**写真 2、3** の資料のように 紹介しています。

## 解説文

| 得られる<br>教訓 | 地すべり地形が千枚田をつくり水田を可能にしていることを教えています。 |    |      |    |       |       |      |          |    |   |             |
|------------|------------------------------------|----|------|----|-------|-------|------|----------|----|---|-------------|
| 教訓分類       | 被害防止                               | 準備 | 災害対応 | 54 | 復旧・復興 | 自助    | 共助   | 公助       | ハー | F | ソフト         |
| 時代         | 江戸時代以前                             | 江戸 | 時代   | B  | 明治・大正 | 昭和 30 | 年代まで | 昭和 60 年代 | まで | 7 | <b>P成以降</b> |

| 整理番号    | 香土3  |   | 小豆島土砂災  | 災害跡地(昭   | 和 51 年)   |  |  |  |  |  |
|---------|--|---|---|--|---|--|--|--|--|--|
| 災害種別    | 水害・治   | 水 地震・   | 津波 =  | 上砂災害   | <b>渴</b>  | 水・利水   |  |  |  |  |
| 場所      | 香川県小豆郡小豆島町蒲野   |   |   |  |   |  |  |  |  |  |
|         | 小豆島町池田の谷尻地区では、昭和 51 年 9月の台風 17 号による集中豪雨では、土砂災害で 24 名の死       |   |   |  |   |  |  |  |  |  |
| 見所・アクセス | 者を出すなど大きな被害を受けました。被災した蒲野地区へは、小豆島町役場池田庁舎より南南東へ直線<br>距離で約5kmです |   |   |  |   |  |  |  |  |  |
| 7967    | 距離で約 5km です。   |   |   |  |   |  |  |  |  |  |
| 写真・図    | 写真   | 1   | 写真 2  現地区の土石流による被災等   | The state of the s | 写真 3  | The state of the s |  |  |  |  |
| 77      | 小豆島の谷尻亀落の状況  | 写点 (2007年10 月录報)  | 生石減は様で連んがの2提供で通んがの2提供での提供であります。   | ROŽ  | 中の主の主ない。<br>中の主の主ない。<br>の主の主ない。<br>の主の主ない。<br>の主の主ない。<br>では、<br>の主の主ない。<br>では、<br>の主の主ない。<br>では、<br>の主の主ない。<br>では、<br>の主の主ない。<br>では、<br>の主の主ない。<br>では、<br>の主の主ない。<br>では、<br>の主の主ない。<br>では、<br>の主の主ない。<br>では、<br>の主の主ない。<br>には、<br>の主の主ない。<br>の主の主ない。<br>には、<br>の主の主ない。<br>には、<br>の主の主ない。<br>の主の主ない。<br>には、<br>の主の主ない。<br>の主の主ない。<br>の主ない。<br>の主ない。<br>の主ない。<br>の主ない。<br>の主ない。<br>の主ない。<br>の主ない。<br>の主ない。<br>の主ない。<br>の主ない。<br>の主ない。<br>の主ない。<br>の主ない。<br>の主ない。<br>の主ない。<br>の主ない。<br>の主ない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>のまない。<br>の。<br>の。<br>の。<br>の。<br>の。<br>の。<br>の。<br>の。<br>の。<br>の | Tite   |  |  |  |  |
| 解説文     | 小豆島町和田の する降 を  | 記録しました。この家でなど、県内各地で合いまの 82 話には、<br>一八話の 82 話には、<br>三総代として土砂災害<br>るな島で、壷井栄の小<br>事気候で豪雨災害の発<br>近く経った今でも信じ<br>の状況を示す。<br>こさせた地形地質構造<br>の四国の地盤 88 箇所<br>の写真、さらにの小豆<br>26 年 8 月豪雨による | 月8日12時から<br>雨により、随所で<br>わせて死者50名に<br>小豆島の被災状の<br>・<br>・<br>・<br>・<br>を経験した人の瞳」<br>・<br>・<br>・<br>・<br>・<br>と<br>さ<br>と<br>さ<br>さ<br>さ<br>さ<br>さ<br>さ<br>さ<br>さ<br>さ<br>さ<br>さ<br>さ<br>さ | 9月13日15時で土砂災害が起このぼる大災害が起このぼる大災害を自衛隊の捜索がの捜索がいた。 との 大災   | Fまでに 1,400mm<br>こり、小豆島町?<br>こり、小豆島町?<br>ことなりました。<br>芸活動状況の写真<br>ことこれだけの規模の<br>でとこれだけの規模の<br>では土石流<br>一教授が社団法人<br>気による被災写料を<br>でによる、4 の食料を<br>での住宅地を襲っ<br>します。写真 6 に   | という1年分に匹敵<br>也田の谷尻地区で 24   |  |  |  |  |
| 得られる    | 住民の方の体   | <b>は験談とともに水に弱</b>   | いマサドの分布な  | ども一因となる  | る土砂災害であっ  | た小豆島災害は、今  |  |  |  |  |
| 教訓      | 後の土砂災害対  | 対策を考えるうえで参  | 考となることを教  | えています。   |   |  |  |  |  |  |
| 教訓分類    | 被害防止   | 準備 災害対  | ·応 復旧·復興  | 自助共  | 助 公助  | ハード ソフト  |  |  |  |  |
| 時代      | 江戸時代以前   | 江戸時代  | 明治・大正   | 昭和 30 年代ま  | で 昭和 60 年代  | まで 平成以降  |  |  |  |  |

| 整理番号 | 香土4   | 讃岐山脈のケスタ地形と地ずべり地形   |   |  |                                 |                  |  |  |  |  |
|------|---|---|---|--|---------------------------------|------------------|--|--|--|--|
| 災害種別 | 水害。治  | 台水  | 地震·津流   | 皮 :  | 土砂災害                            | 渇                | 水・利水   |  |  |  |
| 場所   | 香川県高松市塩江町上西   |   |   |  |                                 |                  |  |  |  |  |
|      | 讃岐山脈には、地ずべり地形が多数分布しています。地ずべり地形は、和泉層群の流れ盤斜面に多く形                |   |   |  |                                 |                  |  |  |  |  |
| 見所・  | 成されています。これら地ずべり地形の多くは、現河床より高標高部に位置し、現在はほぼ安定していま               |   |   |  |                                 |                  |  |  |  |  |
| アクセス | すが、切り土工事に伴い一部が不安定になることがあります。<br>塩江町コミュニティバス物言川~一ツ内下車          |   |   |  |                                 |                  |  |  |  |  |
|      | 塩江町コミ   | 塩江町コミュニティバス物言川~一ツ内下車  |   |  |                                 |                  |  |  |  |  |
| 写真・図 | 日本  |   |   |  |                                 |                  |  |  |  |  |
| 解説文  | の流れ盤斜面<br>現在はほぼ安<br>く傾斜し、交<br>く侵食を受け<br>成されいるも<br>りできたとは<br>番 | に多く形成さ<br>定しています<br>互に重なった<br>、硬い地層が<br>のです。(ケン<br>の地形のこと<br>が、の大学工学部 | れています。<br>が、切土工事<br>硬軟の地層だ<br>さほど侵食を<br>マタ (Cuesta<br>です。)<br>長谷川修- | これらの地す<br>事に伴い一部が<br>が差別侵食を受<br>を受けなかった<br>スペイン語で<br>一教授が社団法 | 不安定になる、 けた結果、形成 結果、形づくに 「斜面」の意) | くは、現河床よりことがあります。 | でり地形は和泉層群<br>の高標高部に位置し、<br>ケスタ地形とは、緩<br>軟らかい地層が大き<br>憩崖の組み合わせで構<br>土地層の差別侵食によ<br>月発行の四国の地盤 |  |  |  |
| 得られる |   |   | :地形でもケ  | スタ地形のよ   | <br>うな場所は切り                     | 土工事などで不          | 安定化する可能性が  |  |  |  |
| 教訓   | あることを教  |   | //c === 1 1 1 2   | the im-  |                                 | ni u ni          |  |  |  |  |
| 教訓分類 | 被害防止  |   | 災害対応  | 復旧·復興  |                                 | 助 公助             | ハード ソフト  |  |  |  |
| 時代   | 江戸時代以   | 前江河   | 時代  | 明治・大正  | 昭和30年代ま                         | で 昭和60年代         | だまで 平成以降   |  |  |  |

| 整理番号        | 香土 5   | 小豆島の   | の露出地盤   | (マントル   | 直結安山岩「   | サヌキトイ  | ド」)   |  |  |  |
|-------------|--|--|---|---|--|--|---|--|--|--|
| 災害種別        | 水害・治   | 台水   | 地震・津  | 波   | 土砂災害   | 渴7   | 水・利水  |  |  |  |
| 場所          | 香川県小豆郡小豆島町神浦   |  |   |   |  |  |   |  |  |  |
| 見所・<br>アクセス | 美が造られま   | こした。 そんた   | な小豆島の形成   | 成、そして日本   | 列島の形成、さら   | らには地球とい  | をはじめとする自然<br>う惑星の成り立ちを<br>びる三都半島の先端   |  |  |  |
| 写真・図        | 写真 1       写真 2       写真 3       写真 4  |  |   |   |  |  |   |  |  |  |
| 解説文         | のおいのこのでは、います。とは、います。とは、います。とは、いまがでは、いまがでは、いまが、では、いいのでは | か<br>黒い安山岩<br>約 1300 万年<br>できたマグマ<br>できたマグマ<br>ででまた世界的<br>は岩が見えます。<br>ントル直結<br>3半島サヌキ<br>いし、地球とい<br>にれたこ 讃し<br>にない、<br>はない、<br>ないできない。<br>には、<br>ないできない。 | が露出した急に<br>手前の玄表に動力を表に<br>すが地重要をある。<br>かに重要でがるのが、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのは、<br>からのも。<br>からのは、<br>からのも。<br>からのも。<br>からのも。<br>からのも。<br>からのも。<br>からのも。<br>からのも。<br>からのも。<br>からのも。<br>からのも。<br>からのも。<br>からのも。<br>からのも。<br>からのも。<br>からのも。<br>からのも。<br>からのも。<br>からのも。<br>からのも。<br>から。<br>から。<br>から。<br>から。<br>から。<br>から。<br>から。<br>から。<br>から。<br>から | 斜面( <b>写真1)</b> で<br>が花崗岩に貫入<br>が花崗岩に貫入<br>き出したもので<br>点の 1 つです。<br>ツの世界的「マン<br>り立ちを知る上<br>研究者が小豆島<br>ト)によく似た<br>いるので、目立 | す。<br>、した火山岩頸で<br>あることを神戸<br>現地は <b>写真 2</b> の<br>高いものであ<br>トル直結安山岩<br>で重要なマント/<br>に注目し小豆島<br>安山岩で、普通の | す。この玄武岩<br>大学の異好神浦・りまうに神浦・ります。 従ます。 従ま は 本 ま 出 は な 山 は お 日 本 り が 有 名 に お が 灰 り 現 地 の 黒 い 砂 | 繋島の神浦・権現岬は、沈み込んだマン授が明らかにしてい権現岬の海岸添いの安山岩がマントル信じられていませんサヌキトイドがこのした。をしているのに対した。をしているのに対しな浜の海岸(写真3) |  |  |  |
| 得られる<br>教訓  | 動により誕生   | こした小豆島の  | D形成、そし <sup>*</sup>   | て日本列島の形   | _  | 求という惑星の  | の瀬戸内海の火山活<br>成り立ちを知る手が<br>ます。   |  |  |  |
| 教訓分類        | 被害防止   | 準備   | 災害対応  | 復旧•復興   | 自助 共助  | 公助   | ハード ソフト   |  |  |  |
| 時代          | 江戸時代以  | .前 江   | 戸時代   | 明治・大正   | 昭和 30 年代まで   | 昭和 60 年代   | まで 平成以降   |  |  |  |

| 整理番号       | 香土6   | 蛸山 (たこやま) の崩壊記念碑  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|------------|---|---|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 災害種別       | 水害。沒  | 治水 地震・津波 <b>土砂災害</b> 渇水・利水  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 場所         | 香川県高河   | 香川県高松市塩江町上西乙  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 見所・        | 塩江温泉の内場池(内場ダム貯水池)の西斜面に蛸山(たこやま)崩壊記念碑( <b>写真1)</b> があります。<br>その場所へは、香東川沿いの国道 193 号を塩江温泉に向かって走行し「道の駅しおのえ」手前の香東川に   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |
| アクセス       |   | 喬 (写真 2) を渡り、内場ダム貯水池沿いに県道 7 号(写真 3)を約 3km 進み、上流端に架かる<br>写真 4) を渡り、山側にある道を約 850m 上った林道の横 (写真 5) にあります。                         |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 写真・図       | 写真 1  | 写真 2     写真 3     写真 4     写真 5       写真 7     写真 8     写真 9     写真 10  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 解説文        | 塩し日 過市点 猛喚惨お又掘真今喚青れ山字ででて 10にた大去)在大「り(にほ時葬8)大(年てのがきすい大をこ温。わ正ののす正維狂きもけの儀に正あ団い中読て。ま正見の泉こた元流雨る5(ふょ家な郡等よ五び、まにめい平す元比蛸郷のる年失量5年こてう屋くな郡等よ五び、まにめい平す元比蛸郷は戦暴(1は戸(れ書かとも戦来・四き防。ついり2 蝉べ前 | 最南部に位置する塩江は、香川県を代表する温泉郷であり、高松の奥座敷とも呼ばれています。こある内場ダム(写真6)西側の蛸山では、大正元年に深層崩壊が発生し、26 名が犠牲になりま                                      |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 得られる<br>教訓 | この自然災害  | たちが見ている内場池周辺の山紫水明の塩江温泉郷は、現在、観光地として発展していますが、<br>書伝承碑は、大正年代に発生した大規模な深層崩壊の土砂災害で多くの人が犠牲になった教訓<br>ともに、その時の災禍を忘れず土砂災害に備えることを教えています。 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 教訓分類       | 災害防止  |   |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 時代         | 江戸時代以   | 財治・大正         昭和 30 年代まで         昭和 60 年代まで         平成以降  |  |  |  |  |  |  |  |  |